建設現場で使える労働安全衛生法Q＆A　目次

第1章　労働安全衛生法の基礎

概　説……2

第1節　労働安全衛生法とは

Q1　労働安全衛生法とは、どのような法律ですか？……2

Q2　「事業場」とはどのようなものですか？……3

Q3　建設業の本社や支店等の店社の業種は建設業ではなく、「その他の事業」ではないのですか？……3

第2節　事業者と元方事業者

Q4　「事業者」とはどのようなものですか？……4

Q5　事業者は、どのようなことをしなければならないのですか？……5

Q6　労働安全衛生法では、事業者のほかにどのような立場の者が責任を負うのでしょうか？……6

Q7　元方事業者とはどのようなものですか？……7

Q8　元方事業者は、労働安全衛生法上どのようなことをしなければならないのですか？……8

Q9　元請には、前問に記載された事項のほかには、実施すべき事項はないのですか？……9

Q10　「安全管理は元請の仕事」といわれることがありますが、そうではないのですか？……11

第3節　共同企業体

Q11　共同企業体とはどのようなもので、労働安全衛生法上どのような点に注意が必要でしょうか？……12

第4節　工事現場の労災保険

Q12　工事現場の労災保険はどこがかけるのでしょうか？……13

第5節　総括安全衛生管理者

Q13　総括安全衛生管理者は、どのような場合に選任しなければならな

いのでしょうか？……14
Q14　総括安全衛生管理者となるのは、資格が必要なのでしょうか？……14
第6節　安全管理者
Q15　安全管理者は、どのような場合に選任しなければならないのでしょうか？……15
Q16　安全管理者となるためには、資格が必要なのでしょうか？……15
第7節　衛生管理者
Q17　衛生管理者の選任は、どのような場合にしなければならないのでしょうか？……18
Q18　衛生管理者となるためには、資格が必要なのでしょうか？……19
第8節　産業医
Q19　産業医は、どのような場合に選任しなければならないのでしょうか？……19
Q20　産業医として選任できるのは、医師でありさえすればよいのでしょうか？……20
第9節　安全衛生推進者
Q21　安全衛生推進者は、どのような場合に選任しなければならないのでしょうか？……21
Q22　安全衛生推進者は、資格が必要なのでしょうか？……21
第10節　安全衛生委員会
Q23　安全衛生委員会とは、どのようなものですか？……22
Q24　安全衛生委員会はどのように構成するのですか？……23
第11節　健康診断
Q25　健康診断の実施は義務づけられているのでしょうか？……23
Q26　特殊健康診断とはどのようなものでしょうか？……25
第12節　作業環境測定
Q27　作業環境測定とはどのようなものですか？……25
第13節　罰則
Q28　労働安全衛生法には罰則があるそうですが、どのようなものですか？……27
Q29　両罰規定とは、どのようなものですか？……27

第2章　元請として行うべき事項

概　説……30

第1節　店社における管理と工事現場における管理

Q30　統括安全衛生責任者を選任しなければならないのは、どのような場合でしょうか？……30

Q31　統括安全衛生責任者は、どのような職務をしなければならないのですか？……32

Q32　統括安全衛生責任者は、資格等が定められているのでしょうか？……33

第2節　元方安全衛生管理者

Q33　元方安全衛生管理者を選任しなければならないのは、どのような場合でしょうか？……33

Q34　元方安全衛生管理者は、資格が必要なのでしょうか？……33

Q35　元方安全衛生管理者は、どのような仕事をするのでしょうか？……35

第3節　店社安全衛生管理者

Q36　店社安全衛生管理者は、どのような場合に選任しなければならないのでしょうか？……36

Q37　店社安全衛生管理者は、資格が必要なのでしょうか？……36

Q38　店社安全衛生管理者は、どのような職務をしなければならないのですか？……37

Q39　元方安全衛生管理者や店社安全衛生管理者は、下請の協力がなければ職務を進められないと思いますが、その点はどうすればよいでしょうか？……37

第4節　元請の提出書類等

Q40　元請が工事を始めるときに労働基準監督署に届け出なければならない事項には、どのようなものがあるでしょうか？……38

第5節　安全衛生協議会

Q41　安全衛生協議会（災害防止協議会）は、どのようにして開催するのでしょうか？……40

第 6 節　下請に対する指導援助
Q42　下請に対する指導援助とは、具体的にどのようなことを実施すればよいのでしょうか？……42
Q43　新規入場者教育とは、具体的にどのようなことを実施するのでしょうか？……44
Q44　下請に対する指導援助を怠った場合、法違反となるのでしょうか？……44
第 7 節　下請の寄宿舎
Q45　下請が寄宿舎を有している場合も、元請は管理責任を問われるのでしょうか？……45
Q46　寄宿舎の有無はどのようにして確認すればよいでしょうか？……45
第 8 節　労働者の救護に関する措置
Q47　労働者の救護に関する措置とはどのようなものでしょうか？……46
Q48　救護に関する措置として実施すべき事項をもう少し具体的に説明してください。……47
第 9 節　オペ付きリースによる重機等
Q49　オペ付きリースとはどのようなものでしょうか？……50
Q50　オペ付きリースでは、元請はどのようなことに注意すべきでしょうか？……51
Q51　機械等貸与者は、何かしなければならないことがあるのでしょうか？……52
Q52　都道府県の設備貸与事業で貸与された機械についても、機械等貸与者に関するこれまでの規定は適用があるのでしょうか？……52
第10節　違法な指示の禁止
Q53　元方事業者が下請に対し、法令違反をするように指示をした場合にはどうなりますか？……53
Q54　前問の条文には罰則がありませんが、元請が違法な指示をしても処罰はされないのでしょうか？……53
第11節　悪天候時の措置
Q55　悪天候とは、どのような場合をいうのでしょうか？……53
Q56　悪天候の場合には、法令上どのようなことに注意しなければなら

ないでしょうか？……54
Q57　天候により、労働基準監督署から指示が出ることがあるでしょうか？……56

第3章　下請が行うべき事項

概　説……58
第1節　安全衛生管理体制
Q58　作業主任者とはどのようなものでしょうか？……58
Q59　免許と技能講習はどのように違うのでしょうか？……60
Q60　単独作業の場合には、作業主任者はいなくてもよいでしょうか？……60
Q61　作業主任者を選任する場合の注意事項には、どのようなことがあるでしょうか？……61
第2節　職長・安全衛生責任者
Q62　安全衛生責任者（職長）とは、どのようなものでしょうか？……61
Q63　安全衛生責任者（職長）は、何か資格があるのでしょうか？……62
Q64　職長・安全衛生責任者養成講習は、要件が定められているのでしょうか？……62
第3節　作業指揮者
Q65　作業指揮者とは、どのようなものでしょうか？……63
Q66　作業指揮者には、資格のようなものが定められているのでしょうか？……66
第4節　リスクアセスメント
Q67　リスクアセスメントとは、どのようなことをいうのでしょうか？……67
Q68　リスクアセスメントは、どのようなときに実施しなければならないのでしょうか？……68
Q69　リスクアセスメントは、下請が行わなければならないのですか？……68
第5節　検査証
Q70　クレーンや建設用リフトには、検査証が必要と聞いたことがあり

ますが、検査証とはどのようなものでしょうか？……69
Q71　検査証は、工事現場に備え付けなければならないのでしょうか？……70
Q72　検査証がない場合はどうなりますか？……71
Q73　検査証がない場合に、新たに交付を申請することはできますか？……71
第6節　構造規格
Q74　構造規格とは、どのようなものですか？……71
Q75　構造規格を具備すべきものとして定められている機械等には、どのようなものがありますか？……72
Q76　構造規格を具備しているかどうかを見分ける方法がありますか？……73
Q77　個別検定や型式検定の対象となっていないものはどのように構造規格を具備しているかどうかを確認するのでしょうか？……74
第7節　定期自主検査
Q78　定期自主検査とは、どのようなものでしょうか？……75
第8節　安全衛生教育（雇入れ時教育、送出し教育と特別教育、職長教育）
Q79　雇入れ時の安全衛生教育とは、どのようなものでしょうか？……76
Q80　送出し教育とは、どのようなものでしょうか？……77
Q81　特別教育とは、どのようなものですか？……78
Q82　特別教育は、科目等が定められているのでしょうか？……83
Q83　特別教育の科目を省略することができますか？……83
Q84　特別教育は、講師の要件が定められているのでしょうか？……83
Q85　特別教育に準ずる教育というのを聞いたことがありますが、どのようなものでしょうか？……84
Q86　職長教育とは、どのようなものでしょうか？……86
Q87　雇入れ時の安全衛生教育や特別教育の費用は、会社が負担しなければならないのでしょうか？……86
第9節　資格者の確保（免許、技能講習）
Q88　免許や技能講習が必要な業務には、どのようなものがありますか？……87
Q89　免許や技能講習の資格は、どのようにしてとればよいのでしょうか？……90
第10節　作業環境測定

Q90　作業環境測定とは、どのようなものでしょうか？……91

第11節　健康診断

Q91　健康診断は、どのような労働者に実施しなければならないのでしょうか？……91

Q92　健康診断は、どのような項目について実施しなければならないのですか？……92

Q93　健康診断項目を省略することはできないのですか？……93

Q94　健康診断を受けたくないという労働者には、どのようにすべきでしょうか？……93

Q95　健康診断の費用は、会社が負担すべきものでしょうか？……94

Q96　健康診断の結果と業務とで、どのようなことに注意が必要でしょうか？……94

Q97　健康診断を実施した後、どのようなことをすべきでしょうか？……95

Q98　面接指導等とは、どのようなものですか？……96

第12節　事業附属寄宿舎

Q99　事業附属寄宿舎とは、どのようなものでしょうか？……97

Q100　事業附属寄宿舎は、どのようなことをしなければならないのでしょうか？……98

Q101　建設業附属寄宿舎の構造等の基準はどのようになっているのでしょうか？……98

Q102　寄宿舎における災害等で、報告が必要なものにどのようなものがありますか？……100

第13節　報告

Q103　労働者死傷病報告は、どのような場合に提出するのでしょうか？……101

Q104　事故報告書は、どのような場合に提出するのでしょうか？……101

Q105　健康診断を実施した場合に、労働基準監督署への報告が必要ですか？……103

第４章　事項別の災害防止措置

概　説……106

第１節　機械等の一般的規制

Q106　特定機械等とは、どのようなものですか？……106

Q107　特定機械等には、どのような規制がありますか？……108

Q108　機械等の一般的な規制とは、どのようなことがあるのでしょうか？……108

Q109　機械等のメーカーに対する規制はあるのでしょうか？……109

Q110　残留リスクとは、どのようなことでしょうか？……109

Q111　メーカー段階での問題がある機械等について、メーカーや輸入者には、行政機関からの法的な摘発や指導等があるのでしょうか？……111

Q112　機械等のユーザー側で注意しなければならないのは、どのようなことでしょうか？……111

第２節　感電災害防止

Q113　感電災害防止対策としては、どのようなことをしなければならないのでしょうか？……115

Q114　感電防止用漏電しゃ断装置について、もう少し詳しく教えてください。……116

Q115　感電防止用漏電しゃ断装置を接続すれば、アース（接地）の接続は不要でしょうか？……116

Q116　電動機械器具とは、どのようなもので、なぜ感電防止措置が必要なのでしょうか？……117

Q117　工事現場の近くに電線がある場合には、どのようなことをしなければならないのでしょうか？……119

第３節　火災防止

Q118　消火設備が必要なのは、どのような場合でしょうか？……120

Q119　喫煙場所について、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……121

Q120　危険物とは、どのようなものでしょうか？……122
Q121　危険物等を取り扱う場所では、どのようなことをしなければならないのでしょうか？……123
Q122　危険物等の取扱いについて、そのほかの注意事項は、どのようなことがありますか？……124
Q123　防爆構造の電気機械器具を必要とするのは、どのような場合でしょうか？……126
Q124　ガス溶接等の作業で注意しなければならないのは、どのようなことでしょうか？……126
Q125　可燃性ガスが発生する可能性がある場合、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……128

第4節　建設機械と車両系建設機械

Q126　車両系建設機械とは、どのようなものでしょうか？……129
Q127　車両系建設機械については、どのような規制があるのでしょうか？……131
Q128　構造規格と就業制限以外の規制には、どのようなことがありますか？……133
Q129　車両系建設機械の用途外使用とは、どのようなことでしょうか？……135
Q130　定期自主検査と特定自主検査とは、どのようなことでしょうか？……137
Q131　車両系建設機械の月次点検とはどのようなことでしょうか？……138
Q132　車両系建設機械の修理やアタッチメントの交換にあたり、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……138
Q133　定期自主検査とは、単に点検を実施すればよいのでしょうか？……139
Q134　作業開始前点検とは、どのようなことでしょうか？……139
Q135　建設機械についての規制には、どのようなことがありますか？……140
Q136　基礎工事用機械とは、どのようなものでしょうか？……140
Q137　基礎工事用機械の使用にあたり、法令上どのようなことに注意が必要でしょうか？……141
Q138　くい打機、くい抜機とは、どのようなものでしょうか？……141
Q139　くい打機等を使用する場合、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……141

Q140　くい打機等の倒壊防止措置としては、どのようなことがありますか？……142
Q141　ガス導管等の損壊防止ですが、埋設物の設置者に聞くことは可能でしょうか？……143
Q142　ボーリングマシンについては、そのほかに注意すべきことがありますか？……144
Q143　場所打ちくい工事では、どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……145
Q144　移動式クレーンにバイブロハンマーを取り付けてくい打機・くい抜機とした場合、法令上どのような取扱いになるのでしょうか？……145

第5節　締固め用機械

Q145　締固め用機械とは、どのようなものでしょうか？……146
Q146　締固め用機械には、どのような法規制があるのでしょうか？……146

第6節　コンクリート打設用機械

Q147　コンクリート打設用機械とは、どのようなものでしょうか？……147
Q148　コンクリートポンプ車については、法令上どのようなことに注意すべきでしょうか？……147
Q149　コンクリートポンプ車による災害防止としては、そのほかに、どのようなことをしなければならないのでしょうか？……148

第7節　解体用機械

Q150　解体用機械とは、どのようなものでしょうか？……149
Q151　解体用機械には、どのような法規制があるのでしょうか？……149
Q152　解体用機械の作業に係る法規制には、どのようなものがあるのでしょうか？……149
Q153　解体用機械の運転資格については、どのようになっているのでしょうか？……150

第8節　車両系荷役運搬機械等

Q154　車両系荷役運搬機械等とは、どのようなものですか？……151
Q155　車両系荷役運搬機械等を使用する際に、どのようなことをしなければならないのでしょうか？……151
Q156　車両系荷役運搬機械等の災害防止措置とは、どのようなことがあ

るのでしょうか？……152
Q157　何かポイントとなる事項としては、どのようなことがありますか？……153
Q158　安全ブロック等は、どのような場合に用いるのでしょうか？……153
Q159　荷の積卸しで気をつけなければならないことは、どのようなことでしょうか？……154
Q160　荷台への乗車については、何か規制があるのでしょうか？……154
Q161　定期自主検査は、どのようなことをしなければならないのでしょうか？……155

第9節　コンベヤー

Q162　コンベヤーとは、どのようなものですか？……158
Q163　コンベヤーについては、どのようなことをしなければならないのでしょうか？……158

第10節　高所作業車

Q164　高所作業車とは、どのようなものでしょうか？……159
Q165　高所作業車を使用する場合、どのようなことをしなければならないのでしょうか？……160

第11節　ジャッキ式つり上げ機械

Q166　ジャッキ式つり上げ機械とは、どのようなものでしょうか？……161
Q167　ジャッキ式つり上げ機械を使用する際、どのようなことをしなければならないのでしょうか？……162
Q168　ジャッキ式つり上げ機械を使用する際、特に注意すべきことは何でしょうか？……163

第12節　クレーン、移動式クレーン

Q169　クレーンとは、どのようなものでしょうか？……163
Q170　クレーンの就業制限等については、どのようになっているのでしょうか？……164
Q171　クレーンを使用して行う作業において、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……164
Q172　クレーンにより、労働者を運搬したりつり上げて作業をさせることはできないのでしょうか？……165

Q173　クレーン作業時の荷の下への立入禁止は、法令上どのような取扱いになっているのでしょうか？……166
Q174　クレーンの点検は、どのように実施すべきでしょうか？……167
Q175　移動式クレーンとは、どのようなものでしょうか？……168
Q176　移動式クレーンの運転資格は、どのようになっているのでしょうか？……169
Q177　移動式クレーンの検査証について、どのようなことに注意が必要でしょうか？……169
Q178　移動式クレーンを使用するときには、どのようなことをしなければならないのでしょうか？……170
Q179　移動式クレーンの点検はどのように実施すべきでしょうか？……171
Q180　「玉掛けの業務」とは、どのようなものでしょうか？……172
Q181　玉掛け用ワイヤロープについて、法令上規制があるのでしょうか？……173
Q182　「アイスプライス若しくは圧縮止め又はこれらと同等以上の強さを保持する方法」には、どのようなものがありますか？……175
Q183　ワイヤロープの点検では、どのようなことに注意が必要でしょうか？……175
Q184　ワイヤロープの点検色を決めている現場がありますが、どのようなことに注意が必要でしょうか？……176

第13節　エレベーター、建設用リフト、簡易リフト

Q185　エレベーター、建設用リフトと簡易リフトは、どのようなもので、その違いは何でしょうか？……177
Q186　エレベーター、建設用リフトと簡易リフトは、構造についての基準はあるのでしょうか？……178
Q187　エレベーターの使用にあたって、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……178
Q188　エレベーターの安全装置のポイントは、どのようなことでしょうか？……179
Q189　ビル建築工事現場において、本設のエレベーターを工事用に使用することができますか？……179

Q190　建設用リフトの使用にあたって、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……180
Q191　簡易リフトの使用にあたって、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……180
Q192　エレベーター、建設用リフト及び簡易リフトの定期自主検査は、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……180

第14節　巻上げ機

Q193　巻上げ機とは、どのようなものでしょうか？……181
Q194　巻上げ機の使用にあたり、どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……181

第15節　ゴンドラ

Q195　ゴンドラとは、どのようなものでしょうか？……183
Q196　ゴンドラの使用にあたり、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……184
Q197　ゴンドラの定期自主検査については、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……185

第16節　型枠支保工

Q198　型枠支保工とは、どのようなものでしょうか？……187
Q199　型枠支保工の設計にあたり、どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……187
Q200　型枠支保工の組立ての際には、どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……188
Q201　型枠支保工の支柱の根がらみと水平つなぎについて、法令上どのような取扱いとなっているのでしょうか？……189
Q202　型枠支保工の組立て等の作業にあたっては、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……191
Q203　フラットデッキを使用する場合には、型枠支保工に関する条文の適用はないのでしょうか？……192
Q204　コンクリート打設の作業については、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……193

第17節　明り掘削

Q205　明り掘削とは、どのようなものでしょうか？……193
Q206　明り掘削を行う場合、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……193
Q207　作業箇所等の調査としては、どのようなことをしなければならないのでしょうか？……194
Q208　掘削面の勾配について、法令上の基準があるのでしょうか？……194
Q209　地山掘削作業において、地下にあるガス管等については、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……195
Q210　土止め支保工の設置について、法令上の根拠があるのでしょうか？……196
Q211　土止め支保工の構造等について、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……196
Q212　「土止め先行工法」とは、どのようなものでしょうか？……198
第18節　墜落防止措置
Q213　高所作業とは、どのような場合でしょうか？……199
Q214　高所作業では、法令上どのようなことに注意が必要でしょうか？……199
第19節　足場
Q215　足場とは、どのようなものでしょうか？……201
Q216　足場については、どのような法規制がありますか？……202
Q217　足場の倒壊防止措置としては、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……203
Q218　足場の組立等作業主任者には、どのようなことをさせなければならないのでしょうか？……204
Q219　足場の組立等の作業における墜落防止措置は、どのようになっていますか？……204
Q220　足場の点検については、どのようなことをしなければならないのでしょうか？……204
Q221　ローリングタワーについては、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……205
Q222　つり足場については、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……206

Q223　張出し足場については、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……208
Q224　足場に設ける架設通路については、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……209
Q225　足場についての元方規制はどのようになっていますか？……209
第20節　作業構台
Q226　作業構台とは、どのようなものでしょうか？……211
Q227　作業構台について、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……212
第21節　踏抜き防止措置
Q228　踏抜きとは、どのようなことでしょうか？……212
第22節　橋梁（上部工と下部工）架設工事
Q229　橋梁とはどのようなものでしょうか？……213
Q230　橋梁に関する法令上の規制は、どのようなことでしょうか？……214
Q231　橋梁の下部工についての法規制はどのようになっているのでしょうか？……216
第23節　土石流危険河川
Q232　土石流災害とは、どのようなことでしょうか？……219
Q233　土石流危険河川というのは、どのようなことでしょうか？……220
Q234　土石流災害を防止するため、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……221
Q235　「規程」というのは、どのようなものでしょうか？……221
第24節　管渠内作業
Q236　管渠内作業とは、どのようなものでしょうか？……223
Q237　管渠内作業については、どのようなことをしなければならないのでしょうか？……223
第25節　ずい道
Q238　ずい道とは、どのようなものでしょうか？……224
Q239　ずい道等の建設工事において、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……224
第26節　軌道装置

Q240　軌道装置とは、どのようなものでしょうか？……227
Q241　軌道装置を使用するには、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……227
Q242　ずい道等の建設工事現場で軌道装置を使用する場合には、どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……229

第27節　電気工事

Q243　電気工事において、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……230

第28節　木造建築物の組立て等

Q244　法令でいう「木造建築物の組立て等の作業」とは、どのようなものでしょうか？……231
Q245　木造建築物の組立て等の作業にあたり、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……231
Q246　「足場先行工法」とは、どのようなものでしょうか？……232

第29節　建築物等の鉄骨等の組立て等（解体を含む。）

Q247　近年鉄骨造のビル建築が増えていますが、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……233

第30節　コンクリート造の工作物の解体等

Q248　コンクリート造の工作物の解体等の作業を行う場合、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……235
Q249　コンクリート破砕器とは、どのようなものでしょうか？……237
Q250　コンクリート破砕器を使用する作業においては、どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……238

第31節　発破の作業

Q251　発破とは、どのようなことをいうのでしょうか？……239
Q252　発破の作業は、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……239
Q253　発破の業務は、資格が必要なのでしょうか？……241

第32節　有機溶剤等

Q254　有機溶剤とは、どのようなものでしょうか？……242
Q255　有機溶剤を使用するにあたり、法令上どのようなことに注意しな

ければならないでしょうか？……242

第33節　特定化学物質

Q256　特定化学物質とは、どのようなものでしょうか？……243

Q257　建設工事現場では、どのような場合に特定化学物質を扱うのでしょうか？……244

Q258　特定化学物質を取り扱う作業は、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……244

第34節　石綿

Q259　石綿について、建設業としては、どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……244

Q260　建築物等の解体等の作業を行う場合、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……244

第35節　酸素欠乏等

Q261　酸素欠乏等とは、どのようなことをいうのでしょうか？……247

Q262　酸素欠乏危険作業とは、どのようなものでしょうか？……247

Q263　硫化水素濃度が10ppm を超えるおそれのある場所とはどのような場所でしょうか？……249

Q264　酸素欠乏危険作業を行う場合には、法令上どのようなことをしなければならないのでしょうか？……249

Q265　酸素欠乏危険作業とは、前問と前々問ですべてでしょうか？……251

Q266　酸素欠乏危険作業主任者は、どのような職務をしなければならないのですか？……254

第36節　一酸化炭素中毒の予防

Q267　建設工事現場で一酸化炭素中毒が発生することがあるのでしょうか？……255

Q268　一酸化炭素中毒を予防するため、法令ではどのように定めていますか？……255

Q269　一酸化炭素の濃度基準はあるのでしょうか？……256

Q270　室内や坑内を換気する場合、風量はどのように計算すればよいでしょうか？……256

第37節　電離放射線

Q271　建設工事現場で、電離放射線が使用されるのでしょうか？……257
第38節　高気圧業務
Q272　高気圧業務とは、どのようなものでしょうか？……257
Q273　高気圧業務は、安全衛生上どのような問題があるのでしょうか？……257
Q274　高気圧業務の就業制限等は、どのようになっていますか？……258
Q275　高気圧業務は、労働基準監督署への届出が必要でしょうか？……259
Q276　潜函内作業について、法規制はどのようになっているでしょうか？……259
Q277　高気圧業務従事者に対する健康診断は、どのようになっていますか？……260
Q278　高気圧業務健康診断は、記録や届出はどのようにすべきでしょうか？……261
Q279　高気圧業務につかせてはならない場合があるのでしょうか？……261
第39節　除染等業務
Q280　除染等業務とは、どのようなものでしょうか？……262
Q281　除染等業務においては、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……263
Q282　除染等業務の作業指揮者は、どのように教育すればよいでしょうか？……264
第40節　特定線量下業務
Q283　特定線量下業務とは、どのようなものでしょうか？……265
Q284　特定線量下業務は、法令上どのようなことに注意しなければならないでしょうか？……265
第41節　粉じん作業
Q285　粉じん作業とは、どのようなものでしょうか？……266
Q286　粉じんによる障害としては、どのようなものがあるでしょうか？……267
Q287　粉じん作業については、どのようなことをしなければならないのでしょうか？……267
Q288　健康管理面では、どのようなことをしなければならないのでしょうか？……268
第42節　熱中症予防

Q289　熱中症とは、どのようなものでしょうか？……270
Q290　熱中症予防対策として、どのようなことをしなければならないのでしょうか？……270
Q291　そのほかに、実施すべき事項というのはあるのでしょうか？……271
Q292　WBGT とは、どのようなものでしょうか？……271
Q293　WBGT の測定は、どのようにして行うのでしょうか？……274
Q294　熱中症になりやすい人というのはあるのでしょうか？……276

第43節　振動工具

Q295　振動工具とは、どのようなものでしょうか？……276
Q296　振動工具を取り扱う作業は、どのような健康障害を引き起こすのでしょうか？……277
Q297　振動障害防止対策としては、どのようなことをしなければならないのでしょうか？……278
Q298　作業時間の管理はどのように行うのでしょうか？……278

第44節　引金付工具

Q299　引金付工具とは、どのようなものでしょうか？……278
Q300　引金付工具による健康障害としては、どのようなものがあるのでしょうか？……279
Q301　引金付工具作業者要領の内容は、どのようなものでしょうか？……279

第５章　労働者の退職時や退職後の事項

概　説……286

第１節　作業記録等の交付

Q302　労働者が退職するときに、作業記録を交付しなければならない場合があると聞きましたが、どのような場合でしょうか？……286
Q303　作業の記録を保存しておかなければならないのは、どのような場合でしょうか？……286

第２節　離職時健康診断

Q304　労働者が離職するときに、特殊健康診断を実施しなければならない場合があるのでしょうか？……287

第3節　健康管理手帳

Q305　健康管理手帳とは、どのようなものでしょうか？……287

Q306　離職後疾病を発症した場合、病院に健康管理手帳を出せば治療が受けられるのでしょうか？……288

第4節　離職後の労災保険請求

Q307　退職した労働者が、何年かしてから病気が発症したとして労災請求した場合、どのようにすべきでしょうか？……289

Q308　前問の疾病以外には、労災補償は認められないのでしょうか？……290